７　ガス設備機器

【関連章第３章７】

事例２　「ガステーブル使用中、伝導過熱により出火した火災」

出火時分　　12 月　16 時ごろ
用 途 等　　共同住宅　防火造 2/0　延 250 ㎡
防火管理　　非該当
被害状況　　建物ぼや１棟　内壁若干焼損
概　　要

この火災は、共同住宅の台所から出火したものです。

出火原因は、ガステーブル右側内壁に取り付けられたステンレス板がこんろ部分の炎に継続的に熱せられたことで、高温になったステンレス板の熱が壁体内の木材に伝導し、やがて木材の発火温度に達したため出火したものです。

居住者は、ガステーブルのこんろ部分にフライパンを置き、約１時間角煮の調理をしていたところ、右側の壁付近から焦げくさい臭気と煙が出ているのを発見しました。

発見後、こんろの火を止め、コップに入れた水をかけ、濡れたタオルでステンレス板を覆い、自身の携帯電話で 119 番通報をしました。

教 訓 等

この火災は、ガステーブル付近のステンレス板が熱せられ、壁体内の木材に伝導過熱したため、木材が発火し出火しています。

台所や厨房でステンレス板等の金属の不燃材が取り付けられているところでは、外観上安全に見えますが、こんろ部分の炎や高温になる熱源との距離が近いまま継続的に使用を続けると、ステンレス板からの熱が壁体内の木材に伝わり、木材自体が発火温度に達し、出火してしまいます。

壁の構造が壁体内の木材に熱が伝わらない構造になっているか、熱源との距離は近くないか、ステンレス板等に局所的な変色はないか等を日常的に点検し、異常がある場合はすぐに使用をやめましょう。

写真 7-3　使用していたガステーブル

写真 7-4　壁体内の焼損状況